



明るく 正しく 健やかに

寿都小学校 学校だより
令和5年度 第6号
令和5年9月29日発行

子供たちの言葉に耳をかたむけながら ～失敗から学ぶ～

校長 前田 敦子

学校は前期の教育活動を終え、残り半期の折り返し地点を迎えます。気候も過ごしやすくなり、学習・運動に集中できる季節となりました。

先日、書店で一冊の本に目が留まりました。『こどものつぶやきセレクション 一年一組 せんせいあのね：理論社』という本です。鹿島和夫さんが担任した小学校1年生たちとの交換日記であった「あのね帳」からセレクトされたもので、1980年代にも発刊されていましたが、人気絵本作家のヨシタケシンスケさんの絵が加わったことで、新たな魅力が満載の本になっていました。本の中の作品を、何点かご紹介します。

「よびかけ」

くぼ かつよし

ぼくは がっこうがきらいなのに
おんがくかいのよびかけのとき
「がっこうはたのしいね」
っていうかかりになりました

「くちごたえ」

ないとう ゆうこ

わたしがなんかいうと
おかあさんは
「くちごたえをしたらいいけません」
とおこります
せんせい くちごたえってなんですか
わたしはいけんをいっているのです

「へんなこと」

にしあきのぶ

ねるときは もっとおきときたいのに
おきるときは もっとねたい

知らず知らずのうちに、大人が大人の知見で一方向的に導いてしまったり、子供の最善だと思えることを決めてしまったりしているのではないかと「ドキッ」とさせられる言葉が並んでいました。

「言われたことをやる」のではなく、「自分で考えてやる」という子供たちの主体性を育むためには、もっともっと子供たちの言葉に耳をかたむけなければなりません。

10月22日(日)の学芸会に向けて、少しずつ取組が始まっています。どの学級も、子供たちが何をしたいかを大切にしながら、企画・練習を進めています。

もちろん、子供たちの発想は最初から完璧にはいきません。少し進んで失敗し、みんなで振り返って、また次に進む。歩みは少しずつですが、たくさんの学びが生まれています。各担任や指導者は、どこまで子供たちに任せるべきなのか、どのタイミングで支援をするべきなのか、毎日、葛藤している様子です。

子どもの失敗からの学びを大切にする。周りの大人たちが子供の立場になって失敗したことを共感してあげることで、安心して次の挑戦に繋がられるようにする。ねらいがぶれることのないように進んでいきたいと思えます。

ご家庭でも、子供たちの挑戦する過程を応援していただき、次の一步に繋がる言葉かけ・ご支援・ご協力をお願いいたします。

【教育目標】

自分を伸ばし 広い心でがんばり通す 寿小の子

- ・よく考え、進んで学ぶ子 「知」
- ・明るく思いやりのある子 「徳」
- ・強く、たくましい子 「体」

【今年度の重点目標】

自分の言葉で伝える 自分らしく学ぶ

挑 戦

第2章

～自分を信じる力～

1日防災学校

9月13日(水)1日防災学校を実施しました。地震⇒津波の流れで1次避難、2次避難を確認しました。

命を守る行動への意識を高めることができました。そして、4時間目に1～4年生は地震津波による防災の動画を視聴後、防災カルタを行いました。一方、5・6年生は体育館で役場の防災担当の方から防災に関する話を聞き、防災テントとダンボールベッドの設営体験を行いました。児童会の各委員会毎のチームを組み、6年生は昨年度体験済みということもあり、5年生を引っ張り、助け合いながら作業を進めていました。

数日前には停電があり、学校内でも影響を受けましたが、校内放送での「児童の皆さんは心配しないで学習を続けて下さい」の一言に安心感をおぼえました。

いつどこで起こるかもしれない災害、いざという時の行動の仕方や助け合い、よいコミュニケーションが大事ですね。



CS 学校支援活動

～充実した体験活動に取り組んでいます～

子供たちは地域での体験学習をたいへん楽しみにしており、意欲的に活動に取り組んでいます。日頃から地域の方々にご協力いただき、たいへん感謝しております。この体験学習を通して、寿都町のよさや魅力を十分味わってほしいです。

風車の学習(5年)

風を味方につけ、寿都のシンボルとなっている風車について、観て、聞いてふるさと学を深めていきます。



磯遊び(1年)

夢中になって貝やヤドカリを探しました。また、小魚やカニなども見つけ、色々な海の生き物に触ってみました。

子どもたちの人生・
社会をよりよく
変えていく実感



ふるさとを学ぶことは「子どもたちの人生・社会をよりよく変えていく実感を生む」ことに繋がるというお話を聞きました。ふるさと寿都での豊かな体験が豊かな心を育み、自分の人生をよりよい方向へ導く肥しとなっています。本物に触れる体験の価値をこれからも子どもたちに与え続けられるようご協力をお願い致します。

5・6年理科特別授業

こちら理科の専門家チームの先生方による特別授業です。火山の仕組み・流れる水のはたらきなど、実験・観察を通して、アカデミックに学ぶことが出来る機会です。写真は、火山の噴火の仕組みを模型を自分で作っての実験です。噴火の瞬間は驚きと興奮が止まりません。その瞬間を動画におさめています。タブレットも駆使しながら自然現象の面白さに触れています！



後期児童会が始まりました

よりよい学校生活を自分たちの手で作っていくための「児童会活動」ですが、9月から後期の活動がスタートしました。

25日の全校朝会で書記局と各委員会の委員が認証され、後期の活動計画が立てられました。みんなで知恵を出し合い、工夫をしながら活動を進めていってほしいと思います。



○書記局			
会長	〇〇	〇〇	6年
副会長	〇〇	〇〇	6年
〃	〇〇	〇	5年
書記	〇〇	〇〇	5年
〃	〇〇	〇〇	4年
○各委員会			
生活委員長	〇〇	〇〇	6年
保健委員長	〇〇	〇〇	6年
図書委員長	〇〇	〇〇	6年
体育委員長	〇〇	〇〇	6年
放送委員長	〇〇	〇〇	6年

「あゆみ」配付

本日、子供たちに「あゆみ」を配付しました。ご家庭でお子さまと一緒にご覧になり、**お子さまのがんばりを大いにほめていただければ**と思います。

レジリエンス力↑

雑巾の寄贈をお願いします

ご家庭で使わない雑巾または雑巾にできるタオル等があれば、学校へ寄贈していただくと助かります。子供たちの清掃で活用したいと思っておりました。ご協力いただける方は、お子様に持たせて下さい。よろしくお願ひいたします。



10月22日(日)寿都小学校 学芸会にお越しく下さい

開演:8時45分より

場所:寿都小学校体育館

観覧:今年度もお子様の学年のみ観覧をしていただく形になりますが、人数制限は設けません。

※詳しくは『学芸会のお知らせとおねがい』を発行しますのでそちらでもご確認ください。



コラムスマイル

レジリエンスとは、「ストレスやプレッシャーから回復するための力」

9月5日(火)CS定例会熟議より

〔レジリエンスと聞いて思い浮かぶワードは?〕

- ・成功と失敗
- ・しだれやなぎ
- ・ポジティブ
- ・何とかなる
- ・回復力
- ・どんまい
- ・ボクシングのような強い意志
- ・失敗を踏み台にステップ
- ・エリートは打たれ弱い などなど



〔子どもたちのレジリエンス力を高めるためには?〕

〔Aグループ〕

- ・成功までの道をつくらない
- ・失敗から立ち直す自分なりのルーティーン
- ・失敗の共感
- ・最高の厳しい体験
- ・適度な課題設定
- ・他と比べない
- ・味方・信じる人がいること
- ・共感してくれる大人の存在

〔Bグループ〕

- ・成功する体験
- ・皆の良いところを褒め合う
- ・反省と成功体験
- ・格言等先人の言葉を知る
- ・失敗を学ぶ
- ・姿勢
- ・過程を評価する
- ・仏教 禅の教え
- ・支援
- ・再挑戦
- ・大人のアドバイス
- ・糧にする

CS委員の皆様、『レジリエンス』についての熟議をおねがいました。幅広い年齢構成、様々な立場の方からの意見は大変参考になりました。私たち学校で目指しているところを地域の皆様と一緒に考えられたことが、何よりでした。『レジリエンスからの挑戦』これからも多くの場で発信・共有していきたいと考えています。